

後援会だより

2018年を迎えるに当たって

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

支部長懇談会および支部長会議報告



後援会会長 中和夫（祥太郎）/スポーツ健康学部



後援会副会長 松岡孝幸（翔吾）/経済学部

後援会会員の皆さま、本年もたくさんのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

法政大学後援会は、11月11日（土）市ヶ谷キャンパス薩埵ホールで開催された「法政大学後援会創立70周年記念式典」をもって、70周年の歴史を刻むことができました。1947（昭和22）年、焼け跡残る地で、学生と大学を物心両面で支援しようとして100人の父母たちが後援会を設立した想いを、これからも継いでいくとお約束いたします。

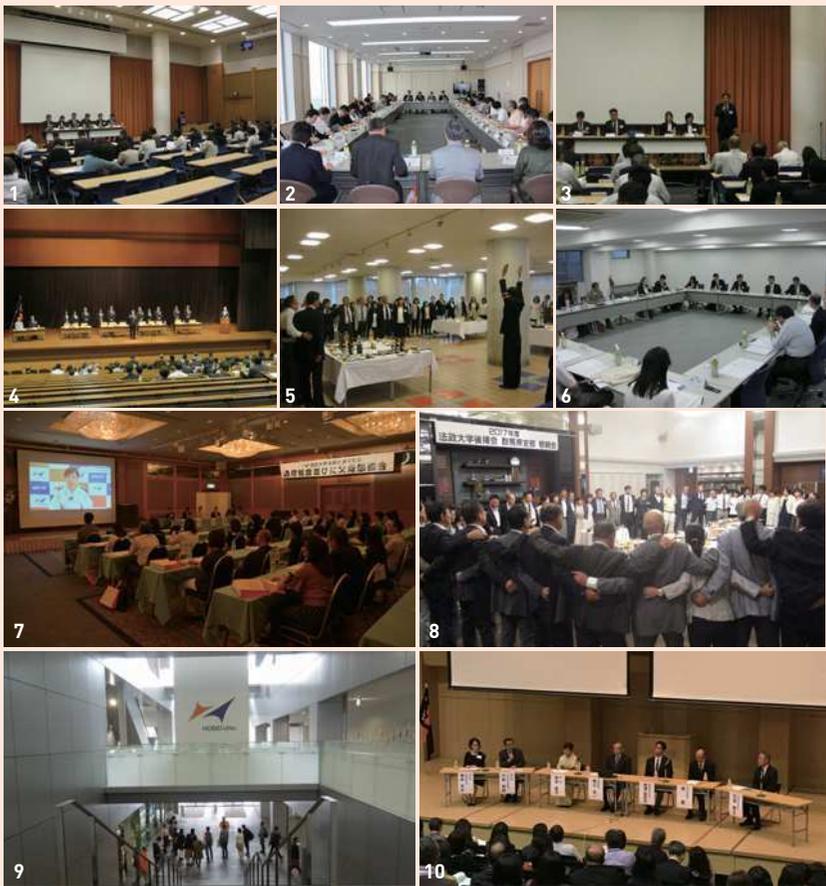
「オレンジ色ののぼり旗」を掲げて応援してくださいました。2018年1月2日（火）、3日（水）に開催される「箱根駅伝」を応援するための準備委員会も、すでに立ち上がりました。ぜひとも会員の皆さまと一丸となって学生ランナーを応援し、治道をオレンジ色に染めることができたらと願っています。詳細事項は後援会ウェブサイト随時掲載していきます。

11月10日（金）、11日（土）の2日間にわたり、市ヶ谷キャンパス、ポアンナード・タワー26階スカイホールにて「支部長懇談会」および「支部長会議」が開催されました。全国36支部から多数の支部長と役員の方々にご出席いただき、運営委員や支部の皆さまとの活発な意見交換を行いました。

11日（土）の午前は、田中優子総長も出席され、ごあいさつをいただきました。その後、10年ごとの周年を迎える6支部の支部長から、周年事業についての報告がありました。今年からは、周年を迎える支部で田中総長の文化事業講演を開催しており、開催準備は支部を中心に対応しています。開催に当たって苦労したことや成果などについて支部長から報告を受け、参加者全員で共有しました。来年、周年を迎える支部の方を中心に活発な質疑応答がありました。



写真で振り返る後援会



- 1 5月20日（土）幹事会/市ヶ谷キャンパス ポアンナード・タワー 「スカイホール」
- 2 5月27日（土）新役員予定者説明会/市ヶ谷キャンパス ポアンナード・タワー 「A会議室」
- 3 6月 3日（土）支部長会議/市ヶ谷キャンパス ポアンナード・タワー 「スカイホール」
- 4 6月 3日（土）総会/市ヶ谷キャンパス 外濠校舎「薩埵ホール」
- 5 6月24日（土）学部長との懇親会/市ヶ谷キャンパス ポアンナード・タワー 「フォレストガーデン」
- 6 6月29日（木）常任参与と運営委員懇談会/九段校舎「第二会議室」
- 7 7月22日（土）静岡支部 総会・父母懇談会/静岡市「ホテルセンチュリー静岡」
- 8 8月27日（日）群馬県支部 総会・父母懇談会/高崎市「エテルナ高崎」
- 9 10月 7日（土）徳島県支部 市ヶ谷キャンパス見学会/市ヶ谷キャンパス 外濠校舎
- 10 10月15日（日）首都圏父母懇談会/小金井キャンパス

後援会創立70周年記念式典報告



後援会副会長 永田芳絵 (講義/文学部)

11月11日(土)、市ヶ谷キャンパス外 濠校舎薩埵ホールにて、法政大学後援会創立70周年記念式典が挙行されました。

澄み切った晴天の中、大学から田中優子総長をはじめと多くの教職員が皆さまが参加くださいました。さらに一般社団法人法政大学校友会、関西大学教育後援会、他大学の保護者組織、歴代後援会会長、後援会クラブ、後援会各支部の支部長、副支部長、後援会本部役員など、合わせて300人を超える方々に参列いただきました。

まず記念式典では、中和夫後援会会長が後援会の歴史を語るとともに、次世代へ引き継ぐ義務と責任、そして70周年を迎えることができたことへの感謝の言葉を述べました。さらに、参列いただいた多くの



記念品の横断幕が各支部に贈られた

皆さまの中から、田中優子総長、法政大学校友会の桑野秀光会長、関西大学教育後援会の森本靖一郎常任顧問から心温まるご祝辞を賜りました。



息を合わせての鏡開き

その後、70周年の記念品として、全国36支部に各支部名の入った横断幕が贈られました。代表して北海道支部と沖縄県支部へ中会長より贈呈され、披露されました。

次に壇上の皆さまが法政大学の法被を着て「よいしょ、よいしょ、よいしょ」という大きな掛け声を合図にたる酒を割る鏡開きが行われると、一気におめでたい雰囲気となりました。升酒を手し、濱清隆後援会クラブ会長に乾杯の発声をお願いし、式典は滞りなく終了しました。

その後の祝賀会では、まず後援会を紹介する映像が流されました。後援会の活発な活動や歴代後援会会長へのインタビューは、それぞれの新しい取り組みがうかがえ、後援会の歴史を感じていました。

続いて、学生によるアトラクションが披露されました。YOSAKOIソーランサークル「鳳達恋」の華やかでダイナミックなダンス、マジシャンズクラブのプロ顔負けのテクニク、そして最後は法政大学応援団

(リーダー部、チアリーダー部、吹奏楽部)による重厚感のある演舞が行われ、和やかに談笑の輪が広がったひと時でした。最後は法政大学応援団に



各支部からの出席者

よる校歌斉唱でした。参加者全員で肩を組み、大きな声で校歌を歌いながら、世代を越えて熱い絆を深めました。締めくくりに松岡孝幸副会長より閉会の辞を経て、祝賀会も盛会裏に終えることができました。



祝宴に花を添えたYOSAKOIソーラン

今回の記念式典では、卒業生で長野放送報道局長の早川英治氏(法学部卒)に司会の大役をお願いしたところ、機転が利いた名進行で場を盛り上げていただきました。運営スタッフとして関わってくださった皆さまにも、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。今後も「子どもの母校は我が母校」のスローガンのもと、学生と大学を支える思いを強くした式典でした。

関西支部六大学野球応援ツアー！ キャンパス見学報告！



関西支部長 隈元厚知 (就平/文学部)

10月14日(土)、15日(日)関西支部では東京六大学野球の応援と、小金井キャンパスの見学ツアーを開催しました。

初日はあいにくの雨でしたが、関西支部の15人が信濃町駅に集合。中和夫会長はじめ本部役員の皆さまの案内で、明治神宮野球場へ向かいました。

球場では、記念撮影の後、野球応援に関するマナーの説明を受けてからスタンドへ。4時間以上と及んだ前試合が終了した後、お待ちかねの法政の試合です。プレボールの前には、対戦相手の早稲田大学と激かたエールを交換。力強く腕を振り上げて校歌を斉唱しました。

試合は、3回裏に法政がタイムリーヒットで先制点！ 7回表に1点を返され同点になったものの、8回裏には再びタイムリーで点を加えて2対1と突き放し、そのまま勝利しました！

試合の後半には日も暮れて、ナイトアイになってきました。この日は気温が低



く、小雨が降る肌寒い中の応援でしたが、心はとても温まりました。応援団、チアリーダー、吹奏楽部の統率の取れた素晴らしい応援と一緒に声を張り上げた、とてもエキサイティングな体験でした。



翌日は、首都圏父母懇談会の開催に合わせて、小金井キャンパスを職員の方で案内いただきました。情報科学部の研究室などを見学し、VR(バーチャルリアリティ)のハイテクな体験もしました。田中優子総長の講演会も、理系学部長のパネルディスカッションを聴講。総長と記念撮影もいたしました。

学生食堂のラーメンは、安くてとても美味しかったです。充実した素晴らしい環境で勉強できる学生がうらやましく思い、「学生諸君、しっかりやってやー」という気分になりました。本部の皆さま、2日間大変お世話になりました。どうもありがとうございます。

4年ぶり、後援会・校友会 法政愛を繋いだ駅伝応援



東海支部長 市原俊明 (駿/法学部)

駅伝応援企画「オレンジプロジェクト」は、「オレンジ色の物を何かに付けて応援に参加しましょう」と呼びかけ、後援会も校友会も一緒になって、のぼり旗を持って応援をするというものです。この企画は、4年前の後援会役員の先輩への相談がきっかけで始まりました。

今回のオレンジプロジェクトの舞台は、秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本大学駅伝)。全国各地の選考会を勝ち抜いてきた25大学が出場し、大学駅伝日本一を決める大会です。第49回目となる今年は、11月5日(日)に開催され、出場する陸上競技部駅伝チームの応援のために、後援会本部から80本ののぼり旗と、130枚の応援グッズの支援をいただきました。



当日、スタート地点の熱田神宮西門には応援団、チアリーダー、後援会関係者をはじめ、地元の校友会、静岡から三枝俊也支部長のご家族

も詰めかけました。7カ所ある中継所には合計47人、ゴール前の伊勢神宮内宮には20人、総勢95人が応援を練り広げました。特に各中継所では、東海支部後援会の役員が、沿道の人たちに「法政大学の応援ですか」と声を掛け、一緒にのぼり旗を持って応援していただきました。多くの人から「楽しかった、また法政を応援するよ」と声をいただきました。



8区間106.8kmで競われた全日本大学駅伝。応援する場所はそれぞれ違っても、選手を思う心は皆同じ。沿道の人たちの温かい心に支えられながら、選手は糧(たすき)を、私たちは心をつないだ。そんな駅伝応援となりました。

この応援はぜひ、東海支部の恒例行事にしたいです。坪田智夫監督、選手皆さま頑張ってください。そして後援会の皆さま、2018年も2018オレンジプロジェクトへの参加をよろしくお願いたします。